

JAWS-2008 投稿原稿用 p<sub>L</sub>A<sub>T</sub>E<sub>X</sub> 2<sub>ε</sub> クラスファイルの使い方

上手 太郎<sup>†a)</sup>

How to Use p<sub>L</sub>A<sub>T</sub>E<sub>X</sub> 2<sub>ε</sub> Class File (jaws.cls) for JAWS-2008 Proceedings

Taro JAWS<sup>†a)</sup>

**Abstract.** JAWS2008 投稿原稿用の p<sub>L</sub>A<sub>T</sub>E<sub>X</sub> 2<sub>ε</sub> クラスファイル jaws.cls の使い方を説明します。本クラスファイルに基づく記述の仕方，クラスファイル使用上の注意点，ならびにタイピングの際の注意事項を説明します。

**Keywords.** クラスファイル

1. ま え が き

JAWS-2008 投稿用の p<sub>L</sub>A<sub>T</sub>E<sub>X</sub> 2<sub>ε</sub> クラスファイル jaws.cls の使い方を説明いたします。JAWS-2008 では，電子情報通信学会論文誌での特集を予定しておりますので，原稿執筆においては，「電子情報通信学会技術研究報告原稿の書き方」等を御参照下さい。

2. テンプレートと記述方法

以下のテンプレートに従って記述してください。原稿執筆に際しては，template.tex を利用できます。

```
\documentclass{jaws}
\jtitle{和文題目}
\etitle{英文題目}
% 著者情報
\authorlist{%
  \authorentry[taro@jaws.com]
  {上手 太郎}{Taro JAWS}{KYO}
}
% 所属組織の情報
\paffiliate[KYO]{京都大学大学院 情報学研究科
  〒 60-8501 京都府京都市左京区吉田本町}
\begin{document}
% 和文あらまし
```

```
\begin{jabstract}
  500 字程度でお願い致します
\end{jabstract}
% 和文キーワード
\begin{jkeyword}
  4 ~ 5 語程度でお願い致します
\end{jkeyword}

\maketitle

% 本文の開始
\section{セクション 1}

---- (省略) ----

% 謝辞
\ack
本論文の執筆においては ...

% 参考文献
\begin{thebibliography}{99}
% 文献数が 10 未満の時 {9}
  \bibitem{reference08}
  著者 1, 著者 2, ‘技術論文の書き方’, Proc. of
  JAWS-2008, pp. 1--8, 2008
\end{thebibliography}
```

<sup>†</sup> 京都大学大学院 情報学研究科，〒 606-8501 京都府京都市左京区吉田本町

a) E-mail: taro@jaws.com

文 献

- [1] Author One, Author Two, "How to read a technical paper", International Conference on Research, 2008

付 録

1. 付 録